

## 款 8 土木費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
19,163,046,367 円	18,295,949,769 円	95.5%	755,740,800 円	111,355,798 円

### 項 1 土木管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
870,805,000 円	864,785,813 円	99.3%	0 円	6,019,187 円

### 目 1 土木総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
870,805,000 円	864,785,813 円	99.3%	0 円	6,019,187 円

〔一般職給〕 7 8 人 646,960,831 円（県支出金 2,009,110 円）  
（その他特財 16,513,164 円）

〔嘱託職給〕 1 人 3,370,912 円

〔再任用職給〕 2 人 6,724,540 円

### （建築指導課）

目的	法律等に基づき建築物の安全を確保し良好な住環境とする				
指標	完了検査合格率 (検査済証発行件数/ 完了検査申請件数)	目標	100%	実績	99.5% (1537 件/1544 件) (20 年度 99.5% (1728 件/1736 件))
説明	建築物の安全性の確保及び違反建築物の防止に資するとの観点から重要であると捉え、必要な普及・啓発を行いました。不備建築物に対し通知をし是正指導を行いました。また、指定確認検査機関への申請が年々増加していることから、指定確認検査機関にも完了検査合格率向上の協力要請を引き続き行いました。				

〔建築指導事務費（建築確認支援システム）〕 2,100,420 円（その他特財 2,100,420 円）

〔委員報酬〕 71,100 円（その他特財 71,100 円）

・ 建築審査会委員 5 人

#### 完了検査合格率の推移

区 分	1 8 年度	1 9 年度	2 0 年度	2 1 年度
合格率	98.7%	98.9%	99.5%	99.5%

### その他経費

〔建築指導事務費（安全防災関連経費）〕 1,572,310 円  
建築安全パンフレット作成委託料等

〔 国庫支出金 392,000 円  
その他特財 1,180,310 円 〕

〔建築指導事務費〕	8,084,214 円	〔 県支出金 153,000 円
構造計算適合判定委託料等		〔 その他特財 7,931,214 円 〕
〔指定道路台帳整備事業費〕	33,674,550 円	( 国庫支出金 16,431,000 円)
〔全国建築審査会協議会等負担金〕	184,000 円	( その他特財 184,000 円)

**(道路整備課)**

〔土木積算システム業務費〕 1,974,411 円

**(市街地整備・公園課)**

目的	道路後退用地整備による住環境の向上				
指標	総延長に対する累計整備延長	目標	4.38%	実績	4.53% (20年度 4.19%)
説明	狭あい道路対策として道路拡幅用地の寄付を受け道路整備を進めています。21年度の整備延長は約3.4kmで前年度を上回る実績となり、総延長(1,200km)に対する累計整備延長率は4.53%になり目標を達成しました。				

〔狭あい道路対策費〕 127,710,570 円

狭あい道路後退用地整備事業実績

区分	寄 付		舗装等の整備		助成金の交付	件数	
	20年度	21年度	20年度	21年度		20年度	21年度
件数(件)	173件	191件	144件	159件	測量分筆登記 支障物件除去	202件 104件	146件 77件
延長(m)	3,166m	3,931m	3,207m	3,393m			
面積(m <sup>2</sup> )	1,962m <sup>2</sup>	2,855m <sup>2</sup>	2,265m <sup>2</sup>	2,522m <sup>2</sup>			

〔緊急雇用創出事業(狭あい道路対策費)〕 3,515,400 円 ( 県支出金 3,515,400 円 )  
公共施設狭あい道路状況調査

**(用地課)**

〔未登記道路調査事業費〕 23,491,490 円  
未登記道路を解消するための調査、測量および登記等を行う費用  
〔法定外公共物等特定事業費〕 1,634,681 円

**(営繕工務課)**

目的	市民に安全で使いやすい公共建築等を提供する				
指標	工事完成後、概ね1年間における不具合発生率	目標	0%	実績	1.8%(1件/55件) (20年度 0%、0件/55件)
説明	各部署から依頼された建築物等の新築、増築、改修、耐震補強工事及び設備工事の設計、監督を行いました。この業務を行うに際し、バリアフリー化に配慮するなど安全で使いやすい施設であることはもちろんのこと、コスト縮減、環境負荷の低減に努めました。施設運営に支障をきたす不具合発生率は1.8%(1件/55件)でした。今後も不具合率0%の維持に努めます。				

〔営繕事務費〕 3,392,384 円  
〔公共建築協会等負担金〕 324,000 円

営繕受託業務の状況

区 分	主 な 工 事・委 託	計
危機管理関係施設	北消防署朝日川越分署ほか 8 施設緊急地震速報整備工事 楠中学校ほか 1 2 校チャーム更新工事 常磐中学校防災倉庫設置工事	4 件
総務部関係施設	天白東会館改修工事 人権プラザ神前改修工事 赤堀児童集会所建具改修工事	8 件
財政経営部関係施設	総合会館中央監視装置更新工事 四日市市庁舎太陽光発電装置（駐輪場）整備工事	2 件
市民文化部関係施設	文化会館第 1 ホールエレベーター設置工事 あさけプラザ舞台機構更新工事 保々地区市民センター 2 階トイレ設置ほか工事	2 2 件
楠総合支所関係施設	楠福祉会館舞台調光設備改修工事 北一色用水機場及び北五味塚用水機場ポンプ取替工事	2 件
福祉部関係施設	橋北子育て支援センター改修工事 障害者体育センター維持改修工事 くす南保育園屋上防水改修工事	1 5 件
健康部関係施設	総合会館 4 階保健所事務室等整備工事 三重北勢健康増進センタープール屋根修繕工事	2 件
商工農水部関係施設	食肉センター・食肉市場豚縦型スキンナーほか改修工事 四日市競輪場施設鉄製部材塗装工事 北勢公設地方卸売市場組合施設改修工事	1 5 件
都市整備部関係施設	三重団地市営住宅住戸改善工事 茂福市営住宅電気容量改良工事 南部丘陵公園備蓄倉庫築造工事	1 6 件
教育委員会関係施設	河原田小学校改築工事設計業務委託 朝明中学校理科室増築ほか工事 中央緑地体育館受変電設備更新ほか工事 旧桜地区市民センター解体工事	3 9 件
消防関係施設	消防本部・中消防署空調設備改修工事 消防本部中署庁舎外壁改修工事 北西救急分駐所消防車庫新築工事	9 件
合 計		1 3 4 件

項 2 道路橋梁費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,796,494,705 円	2,531,217,930 円	90.5%	224,857,600 円	40,419,175 円

## 目 1 道路橋梁総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
251,816,000 円	238,008,954 円	94.5%	0 円	13,807,046 円

〔一般職給〕 14人 121,750,000 円 (県支出金 2,787,477 円)

〔再任用職給〕 1人 3,476,594 円

### (都市計画課)

目的	広域幹線道路の整備促進				
指標	事業進捗状況	目標	早期整備	実績	新名神 四日市 JCT ~ 菰野 IC 用地交渉着手 菰野 IC ~ 亀山西 JCT 用地調査着手 北勢バイパス 大矢知地区で一部開通 三重地区以南の用地交渉継続
説明	新名神高速道路、東海環状自動車道及び国道 1 号北勢バイパス等の広域幹線道路の整備促進のため、事業主体と一体となり関係地区との事業調整を図るとともに、各期成同盟会等による要望活動を行いました。				

路線名	20 年度進捗率 (進捗状況)	21 年度進捗率 (進捗状況)
新名神高速道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>四日市 JCT ~ 菰野 IC 八郷・保々地区 用地幅杭設置、埋蔵文化財調査</li> <li>下野地区 設計協議成立、用地幅杭設置</li> <li>菰野 IC ~ 亀山西 JCT 水沢地区 設計協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四日市 JCT ~ 菰野 IC 八郷・下野・保々地区 用地交渉、埋蔵文化財調査</li> <li>菰野 IC ~ 亀山西 JCT 水沢地区 設計協議成立、用地境界立会</li> </ul>
国道 1 号北勢バイパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>大矢知地区 本線下部工、上部工等の工事を推進、未買収地取得のための法的手続き</li> <li>三重地区 用地単価提示、用地交渉</li> <li>神前地区 設計協議成立、用地幅杭設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大矢知地区 みえ朝日 IC ~ 市道垂坂 1 号線間で一部開通、未買収地取得のための法的手続き</li> <li>三重地区 用地交渉</li> <li>神前地区 用地境界立会、物件調査</li> </ul>

### その他経費

〔負担金〕	2,118,000 円	
・北勢バイパス建設促進期成同盟会等負担金	850,000 円	
・日本道路協会等負担金	1,268,000 円	
〔広域基幹道路整備基金積立金〕	6,190,841 円 (その他特財	6,190,841 円)

### (道路管理課)

〔道路台帳整備事業費〕 13,020,000 円

市道 7,906 路線 2,136.4 km

**(用地課)**

目的	道路・河川・水路・公園の官民境界査定				
指標	処理日数 (処理件数)	目標	40日 (1,100件)	実績	36日 (641件) 20年度 37日 950件
説明	市が管理する官地(道路・河川・水路・公園)と、それに接した民地との境界線について、現地で立会いを行い確認しました。個人の立会件数は減少したものの、昨年に引き続き、大型公共事業(北勢バイパス・新名神高速道路)などの広範囲な境界立会いが実施されたため、事務量は増加しましたが、平成19年度より構築を行っている境界査定管理システムの一部稼働により、事務処理の効率化を図りました。				

〔境界査定業務費〕	41,525,110円
・一般経費(境界査定システム等)	39,803,264円
・緊急雇用創出事業費(境界査定業務補助事業)	1,721,846円 (県支出金 1,721,846円)

**その他経費**

〔代替地等売却事業費〕	2,238,700円
〔負担金〕	240,641円
・用地対策連絡協議会等負担金	

**目2 道路維持費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
413,876,000円	412,490,937円	99.7%	0円	1,385,063円

〔一般職給〕	13人	96,090,979円
〔嘱託職給〕	4人	11,730,278円

**(道路整備課)**

〔明許繰越〕	17,000,000円
〔道路維持修繕費〕	17,000,000円
工事請負費(5件)	17,000,000円

**(道路整備課)**

目的	道路の維持				
指標	道路損傷個所での事故件数	目標	12件以下 (過去3ヵ年平均 数の10%減)	実績	10件 (20年度 13件)
説明	安全で円滑な交通を確保し、道路瑕疵による交通事故を抑制するため計画的な道路パトロールを実施し、道路損傷個所の早期発見と早期補修に努めました。 また、経済対策事業として、損傷の激しい路線の再舗装工事を実施しました。				

〔道路雪氷対策費〕	3,878,700円	委託料(6件)	3,878,700円
〔道路維持修繕費〕	214,336,742円	委託料(22件)	67,630,491円
		原材料費(60件)	28,516,373円
		負担金(1件)	6,378,000円
		工事請負費(単価契約外 24件)	111,140,958円
		道路事故賠償金他(8件)	670,920円
〔市単独経済対策事業費(道路維持修繕費)〕	39,999,999円	(国庫支出金 25,000,000円)	

〔道路パトロール等事業費〕	12,539,660 円	委託料	11,795,000 円
		使用料（車両リース）	744,660 円
〔一般経費〕	16,821,199 円		

**（道路管理課）**

〔放置車両対策費〕	93,380 円
-----------	----------

**目 3 道路新設改良費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,741,844,705 円	1,559,449,959 円	89.5%	177,557,600 円	4,837,146 円

〔一般職給〕	4 人	32,496,461 円
--------	-----	--------------

**（道路整備課）**

〔明許繰越〕	395,489,005 円
--------	---------------

〔地方道路整備臨時交付金事業費（道路）〕 114,195,855 円

事業区分 （施工箇所）	事業内容	実施額	うち特定財源	
			国庫支出金	市債
・山村平津線 （千代田町及び 山分町地内）	工事費 桁製作工 用地費 A=1,063.75 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 3 件 事務費	59,960,000	53,211,000	60,900,000
・小杉新町 2 号線 （小杉新町及び 東坂部町地内）	工事費 L=258.4m W=12.0m 側溝工 L=521.3m L 型街渠工 L=327.9m 舗装工 A=2,741 m <sup>2</sup>	39,032,700		
・垂坂 1 号線 （垂坂町地内）	用地費 A=2,801.06 m <sup>2</sup> 事務費	15,203,155		
地方道路整備臨時交付金事業費（道路） 計		114,195,855		114,111,000

## 〔地域活性化・生活対策臨時交付金事業費〕 152,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
垂坂49号線 (大矢知町地内)	委託料 照明灯移設 1式 工事費 舗装工 A=2,359 m <sup>2</sup> 側溝工 L=306m 用地費 A=144.65 m <sup>2</sup>	32,853,883	国庫支出金	95,000,000
・日永八郷線 (あかつき台四丁目 ほか3町地内)	工事費 L=320 m、 W=9.75 ~ 15.0 m 舗装工 A=3,800 m <sup>2</sup> 路面排水工 L=460m 委託料 工作物調査 1件 補償費 物件移転補償 2件 負担金 信号機移設 4基	33,590,017		
・三重団地生桑線 外8線	工事費 1式	85,556,100		
地域活性化・生活対策臨時交付金事業費 計		152,000,000		95,000,000

## 〔地方特定道路整備事業費(道路)〕 54,500,200 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・下海老寺方線 (下海老町他2町地内)	工事費 L=729.2m W=9.75m 側溝工 L=839.0m L型街渠工 L=194.0m L型擁壁工 L=108.0m 舗装工 A=5,550 m <sup>2</sup> 委託料 境界標設置業務 用地費 A=778.17 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 1件	54,500,200	市債	49,100,000

## 〔準幹線道路整備事業費〕 25,724,500 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永東日野線 (日永西一丁目及び 東日野一丁目地内)	工事費 L=175.1 m ボックスカーブ工 L=174.8 m	25,724,500		

## 〔道路改良単独事業費〕

8,192,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大矢知垂坂1号線 (大矢知町地内)	用地費 A=320.51 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償1件	3,089,000		
・北6号線 (楠町北五味塚地内)	工事費 L=277.7m W=5.3~4.2m 柵板工 L=344.1 m 舗装工 A=1,080 m <sup>2</sup> 事務費	5,103,000		
道路改良単独事業費 計		8,192,000		

## 〔生活に身近な道路整備事業費〕

40,876,450 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・水沢谷町6号線 外19号線 (水沢町地内)	工事費 舗装新設工 A=240 m <sup>2</sup> L=153 m 再舗装工 A=980 m <sup>2</sup> L=303 m 側溝工 L=496 m	40,876,450		

## (道路整備課)

目的	幹線道路の整備				
指標	幹線道路の整備延長 (平成17年度からの累計)	目標	3,333 m	実績	3,467 m (20年度 2,998 m)
説明	快適な市民生活及び円滑な経済活動を支えるための市内幹線道路ネットワークの整備に取り組みました。平成21年度は小杉新町2号線(環状1号線~県道四日市鈴鹿環状線)、垂坂1号線(垂坂町)の供用を開始しました。加えて、山村平津線(山分町~千代田町)は、平成22年度の供用開始を目指し、引き続き整備を実施します。				

## 〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
小杉新町2号線	平成18年度~平成21年度	100.0%
山村平津線	平成8年度~平成22年度	95.4%
垂坂1号線	平成19年度~平成21年度	100.0%



〔地域活力基盤創造交付金事業費(道路)〕 329,600,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山村平津線 (千代田町及び 山分町地内)	工事費 橋梁上部工 L=68.0m 橋梁下部工 N=2 基 道路工 L=247.2m W=14.0m 事務費  (一部平成21年度 明許線越)	195,600,000	国庫支出金 市 債	181,280,000 148,320,000
・垂坂1号線 (垂坂町地内)	工事費 L=469.0m W=12.25m 側溝工 L=510.1m 水路工 L=109.9m 舗装工 A=5,591 m <sup>2</sup> 用地費 A=1524.48 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償7件 事務費	134,000,000		
地域活力基盤創造交付金事業費(道路) 計		329,600,000		329,600,000

〔地域連携道路事業費(道路)〕 24,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大沢中野線 (中野町地内)	工事費 1式 事務費	22,440,000  1,560,000	国庫支出金 市 債	12,000,000 12,000,000
地域連携道路事業費(道路) 計		24,000,000		24,000,000

〔県営事業負担金〕 3,487,100 円

- ・道路整備事業に伴う三重県への負担金

〔公社健全化事業費〕 2,530,124 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・新開橋整備事業 用地取得事業	用地費 公共用地特会への支出	2,530,124		

目的	準幹線道路の整備				
指標	整備延長 (平成19年度からの累計)	目標	743 m	実績	725 m (20年度 383 m)
説明	幹線道路の整備効果を高める目的で幹線道路へ接続する補助幹線的生活道路の整備に取り組みました。平成21年度は、下海老寺方線、日永7号線の建物・工作物調査及び日永東日野線の工事を実施しました。平成21年度の実績については、日永7号線において用地確定の遅れにより目標を下回りました。				

〔地方特定道路整備事業費（道路）〕 36,030,000円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・下海老寺方線 (寺方町他2町地内)	委託料 建物調査業務 境界標設置業務 事務費	3,170,000	市 債	36,000,000
・日永東日野線 (日永西一丁目及び 東日野一丁目地内)	工事費 L=342.0m W=8.0m ボックスカーポート工 L=87.3m 側溝工 L=403.3m 舗装工 A=2,700 m <sup>2</sup> 事務費	32,860,000		
地方特定道路整備事業費（道路） 計		36,030,000		36,000,000

〔準幹線道路整備事業費〕 796,360円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永7号線 (日永一丁目地内)	工事費 L=97.0m W=7.5m 側溝工 L=3.0m 舗装工 A=626 m <sup>2</sup> 委託料 工作物調査業務 公共嘱託登記業務  (一部平成21年度 明許線越)	796,360		

目的	一般市道の整備				
指標	施工延長(平成17年度からの累計)	目標	27,076 m	実績	28,665 m (20年度 23,503 m)
説明	生活に身近な道路整備事業においては、地域が自ら事業箇所を選択することにより、道路が良くなっていると実感できる道づくりに取り組んでいます。さらには、主要道路リフレッシュ事業等において劣化の著しい道路の再舗装を行い市民生活の安全性の向上に努めるとともに、大矢知垂坂1号線等の市道の整備を行いました。				

## 〔主要道路リフレッシュ事業費〕

46,240,700 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔再舗装〕 下野保々線 外 6 線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=4,930 m <sup>2</sup> L= 703 m 委託料 調査設計業務委託	41,182,850  5,057,850		
主要道路リフレッシュ事業費 計		46,240,700		

## 〔生活に身近な道路整備事業費〕

480,018,043 円

## 〔市単独経済対策事業費(生活に身近な道路整備事業費)〕

48,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔舗装新設〕 ・智積 5 1 号線 外 1 7 線 (市内一円)	工事費 舗装新設工 A=7,682 m <sup>2</sup> L=2,552 m	29,759,100		
〔再舗装〕 ・七ツ屋大池線 外 6 6 線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=27,935 m <sup>2</sup> L=7,400 m	90,981,450		
〔舗装付帯〕 ・別名大宮線 外 3 4 線 (市内一円)	工事費 側溝工 L=1,898m	92,387,400		
〔その他〕 (市内一円)	その他委託料・道路 施設工及び交通安全 施設工 1 式 〔一部平成 2 1 年度 明許線越〕	314,890,093		
生活に身近な道路整備事業費 計		528,018,043		

## 〔道路改良単独事業費〕

139,815,595 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大矢知垂坂 1 号線 (大矢知町地内)</li> <li>・垂坂 1 号線 (垂坂町地内)</li> <li>・山村平津線 (千代田町及び 山分町地内)</li> </ul>	工事費 L=180.5m W=8.5 ~ 17.0m 側溝工 L=325.1 m 函渠工 L=52.9 m 舗装工 A=2,405 m <sup>2</sup> 用地費 A=52.19 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 1 件 (一部平成 21 年度 明許線越)	80,238,428		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平町 4 号線 外 1 2 線 (市内一円)</li> </ul>	委託料・工事費 用地費・補償費 事務費	59,577,167		
道路改良単独事業費 計		139,815,595		

## 〔生活に安全な道路整備事業費〕

2,853,637 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・笹川環状 1 号線 外 2 線 (笹川三丁目ほか 7 町)</li> <li>・霞ヶ浦羽津山線 (八田一丁目)</li> <li>・その他</li> </ul>	委託料 (一部平成 21 年度 明許線越)	2,853,637		

## 〔道路舗装事業費〕

21,699,015 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔再舗装〕 神前桜線 外 7 線 (市内一円)	工事費 再舗装工 A=6,215 m <sup>2</sup> L= 771 m	21,699,015		

**(市街地整備・公園課)**

〔地区計画道路整備事業費〕

3,630,900 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
小林地区内道路	道路舗装工事 幅員 6 m 延長 133 m 舗装工 A=670 m <sup>2</sup> 道路側溝整備工事 幅員 5 m 延長 57 m 用地測量 1 式  (一部平成 21 年度 明許繰越)	3,630,900		

**(道路管理課)**

〔私道整備補助金〕

2,055,480 円

・南垂坂町地内 外 3 件

**目 4 橋梁維持費**

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,916,000 円	1,866,647 円	97.4%	0 円	49,353 円

**(道路整備課)**

目的	適切な橋梁の維持管理				
指標	補修橋梁数	目標	1 橋	実績	3 橋 (20 年度 1 橋)
説明	海蔵川に架かるしらさぎ橋他の再塗装を実施し、橋梁施設の維持管理に努めました。				

〔橋梁修繕工事費〕

1,866,647 円

委託料 (1 件)

157,500 円

工事請負費(5 件)

1,709,147 円

**目 5 橋梁新設改良費**

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
387,042,000 円	319,401,433 円	82.5%	47,300,000 円	20,340,567 円

(道路整備課)

〔明許繰越〕

42,462,000 円

〔地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁)〕 28,680,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・海山道跨線橋 (海山道町一丁目ほか 2町地内)	工事費	28,680,000	国庫支出金 市 債	15,774,000 12,300,000
	落橋防止工 8箇所			
	変位制限工 8箇所 沓座拡幅工 8箇所			
地方道路整備臨時交付金事業費(橋梁) 計		28,680,000		28,074,000

〔長寿命化修繕計画策定事業費(橋梁)〕 3,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・橋梁点検	委託費 長寿命化点検業務	3,000,000	国庫支出金	1,500,000

〔橋梁整備単独事業費〕 10,782,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・橋梁点検 ・海山道跨線橋	委託費 長寿命化点検業務 工事費 耐震補強工事	10,782,000		

目的	橋梁の整備				
指標	落橋防止整備済橋梁数(累計)	目標	37橋	実績	36橋 (20年度 35橋)
説明	東海・東南海・南海地震等の大規模地震災害に備え、緊急輸送道路・防災連絡道路をはじめ市街地や主要路線上の橋梁の耐震化を橋梁耐震化計画の優先順位に従い計画的に実施しています。 平成21年度は、磯津橋について耐震補強及び老朽化対策を実施し完了しました。また、四日市市と菟野町を結ぶ三重橋については左右岸取付工事等の付帯工事を実施し完了しました。なお、海山道跨線橋の耐震対策(橋脚補強、落橋防止)については、鉄道事業者との協議に時間を要し、平成22年度に繰り越しました。				

〔石原南五味塚線(磯津橋)橋梁整備事業費〕 184,951,200 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・磯津橋 (塩浜町地内)	工事費 床版補強 A=531.8 m <sup>2</sup> 伸縮装置 L=60m 橋梁用防護柵 L=590m 舗装工 A=2,310 m <sup>2</sup>	184,951,200	国庫支出金 市 債	15,227,000 169,700,000
石原南五味塚線(磯津橋)橋梁整備事業費計		184,951,200		184,927,000

## 〔地域活力基盤創造交付金事業費(橋梁)〕 26,700,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・海山道跨線橋 (海山道町一丁目ほか 2町地内)	委託料 管理委託 1式 工事費 落橋防止工 5橋脚 変位制限工 10箇所 沓座拡幅工 10箇所 橋柱補強工 4橋脚 事務費  (一部平成21年度 明許繰越)	26,700,000	国庫支出金 市 債	14,685,000 12,000,000
地域活力基盤創造交付金事業費(橋梁) 計		26,700,000		26,685,000

## 〔橋梁整備単独事業費〕 65,288,233 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三重橋 (桜町及び 菰野町神森地内)	工事費 擁壁工 L=140.0m 水路工 L=210.0m 舗装工 A=2,800m <sup>2</sup> 補償費 配電線路移設 1式	54,474,000	市 債 その他特財	36,000,000 27,419,619
・米洗川河川改修 (橋梁工) (別名六丁目及び 大字羽津地内)	工事費 橋梁工 (L=12.3mW=4.0m)1橋 護岸工(両岸)L=55.7m 舗装工 A=293m <sup>2</sup>	4,088,700		
・矢矧橋 (采女町)	用地費 A=527.19m <sup>2</sup>	6,359,494		
・橋梁点検 ・海山道跨線橋 (海山道町一丁目ほか 2町地内)	委託料 委託費 1式 工事費 工事費 1式	366,039		
橋梁整備単独事業費 計		65,288,233		63,419,619

## 項3 交通安全対策費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
345,545,500 円	264,455,832 円	76.5%	72,000,000 円	9,089,668 円

## 目1 交通安全対策総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
122,843,000 円	122,226,964 円	99.5%	0 円	616,036 円

〔一般職給〕 3人 25,729,240 円  
 〔嘱託職給〕 2人 5,397,100 円

### (道路整備課)

〔交通安全施設等管理費〕 49,500,000 円 (その他特財 144,000 円)  
 市内道路照明灯電気使用料

### (道路管理課)

目的	交通安全に関する啓発事業を実施する				
指標	交通安全に関する講習会等の実施回数	目標	270 回以上	実績	270 回 (20 年度 115 回)
説明	四日市市交通安全協議会を母体として、各警察署や各交通安全協会、自治会、PTA、老人会等の各種市民団体と連携して、各種交通安全教室や講座、街頭啓発等を実施した。特に、昨年度から始まった交通安全教育指導員による交通安全教室に重点をおき、交通弱者と言われる子どもと高齢者を対象の中心にして、各種教室や講座を実施した。				

〔交通安全啓発推進費〕 1,567,693 円

< 参 考 > 交通安全に関する講座・講習会等の実施回数

区 分	18 年実績	19 年実績	20 年実績	21 年実績
回 数	65 回	78 回	115 回	270 回

### その他経費

〔放置自転車対策事業費〕 31,012,931 円 (その他特財 1,511,975 円)  
 撤去台数 2,396 台  
 〔交通安全教育事業補助金〕 5,700,000 円  
 〔四日市市交通安全協議会補助金〕 3,300,000 円  
 〔負担金〕 20,000 円  
 三泗地区交通安全対策協議会

## 目2 交通安全施設整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
222,702,500 円	142,228,868 円	63.9%	72,000,000 円	8,473,632 円

〔一般職給〕 1人 4,496,921 円



(道路整備課)  
〔明許繰越〕

2,467,500 円

〔交通安全施設整備単独事業費〕 2,467,500 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・北山山城線 (朝明町)	工事費 擁壁工 L=50.9m 舗装工 A=290 m <sup>2</sup>	2,467,500		

(道路整備課)

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	交通安全施設の実施件数	目標	300件	実績	656件 (20年度 543件)
説明	<p>市民誰もが安心して、快適に暮らせる歩行空間づくりのため、堀木日永線、赤堀末永線、四日市中央線、金場新正線の一部区間(延長1,900m)で、歩道及び自転車歩行者道の整備を、平成21年度完了を目標として計画しており、平成21年度に金場新正線の照明灯の設置及び段差の解消を図り、425m整備し完了しました。また、市内全域において、防護柵やカーブミラーなどの修繕を391箇所、区画線の修復を108箇所、照明灯の修繕を157件実施し、交通安全施設の維持管理に努めました。</p> <p>高齢者や障害者が公共交通機関を利用しやすいよう、塩浜駅東西連絡線へのエレベーター設置調査・設計に着手しました。しかしながら、鉄道事業者との協議に時間を要したことから、平成22年度に繰り越しました。</p>				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
堀木日永線外3線 (歩道・自転車歩行者道整備)	平成16年度～平成21年度	100%

〔交通安全施設整備補助事業費〕 50,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・金場新正線 (諏訪町他4町)	工事費 歩道舗装工 A = 2,957 m <sup>2</sup> 取付道路舗装工 A = 167 m <sup>2</sup> 照明灯工 34基 負担金 舗装工 1式 事務費	50,000,000	国庫支出金 市 債	27,500,000 22,500,000
交通安全施設整備補助事業費 計		50,000,000	50,000,000	

〔交通安全施設整備単独事業費〕 74,221,407 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・西新地久保田線 外14線 (市内一円)	委託料 測量設計業務 工事費 歩道整備工 L=415m 交差点改良工 1箇所 待避所設置工 1箇所	34,282,500		
・その他 (市内一円)	その他交通安全施設工 1式 事務費	39,938,907		
交通安全施設整備単独事業費 計		74,221,407		

〔あんしん歩行空間整備事業費〕 6,999,300 円

(地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業費)

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永地区 ・富田地区	工事費 樹脂系塗布材塗布工 L=425 m すべり止舗装材工 L=152 m <sup>2</sup>	6,999,300	国庫支出金	6,500,000

〔交通安全施設整備事業費〕 4,935,000 円

(緊急雇用創出事業費)

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
カーブミラー点検業務 (市内一円)	カーブミラー点検業務 1式	4,935,000	県支出金	4,935,000

#### 項4 河川費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
848,024,750 円	723,744,609 円	85.3%	117,790,400 円	6,489,741 円

#### 目1 河川総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
168,237,000 円	161,619,235 円	96.1%	2,885,400 円	3,732,365 円

〔一般職給〕

10人

84,194,260円（県支出金 7,000円）

**（河川排水課）**

目的	河川・排水路等の適正な維持管理				
指標	河川維持補修率 (河川維持補修延長/河川全延長)	目標	27.6%	実績	22.7% (20年度 26.8%)
説明	災害等緊急時に河川・排水路・調整池等の能力が発揮できるよう重要度、緊急度を勘案しながら必要箇所について維持管理に努めました。河川の維持補修業務については、効率的な執行に努めたものの施工延長を延ばすことができず、維持補修率について目標を達成することができませんでした。				

〔河川等維持修繕費〕

46,032,764円

河川及び市街化調整区域内の水路の維持修繕

市管理河川

区分	河川数	管理総延長
市管理河川	93	119,653m
うち準用河川	23	50,893m

〔河川等維持修繕費（緊急雇用創出事業費）〕

1,460,550円

鈴鹿山麓研究学園都市調整池の伐木除草の実施

〔河川台帳整備事業費〕

3,129,000円

準用河川十四川の河川カルテ作成業務

〔樋門等管理費〕

2,398,749円（国庫支出金 731,660円）  
（県支出金 646,470円）

国、県より受託した樋門等10箇所、市管理樋門等4箇所の管理業務

〔調整池管理費〕

18,756,150円

市内65箇所の雨水調整池の管理  
（一部平成21年度明許繰越）

〔溜池維持修繕費〕

1,239,000円（その他特財 61,950円）

市場溜（下）及び西山町上池溜池の補修工事の実施

〔負担金〕

758,714円

三重県河川防災協会等負担金

**目2 河川改良費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
679,787,750円	562,125,374円	82.7%	114,905,000円	2,757,376円

〔一般職給〕

2人

14,271,374円

〔明許繰越〕 175,399,150 円  
 〔準用河川改修事業費〕 170,400,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大 字羽津地内)	工事費 L=42.2 m 橋梁工 1 橋 (橋長 L=12.3 m 幅員 W=4.0 m) 護岸工(右岸)L=13.5 m 護岸工(左岸)L=42.2 m 左岸施工ゲート工 N= 1 箇所 舗装工 A=293 m <sup>2</sup>	43,579,650	国庫支出金 市 債	56,800,000 108,000,000
・朝明新川 (中村町及び大鐘町 地内)	工事費 L = 146.7 m 護岸工(左岸)L= 70.0 m 護岸工(右岸)L=146.1 m 仮設工 1 式	48,601,350		
・萱生川 (中村町地内)	負担金 三岐鉄道中村第 3 橋梁 改築工事委託に係る負 担金 事務費	78,219,000		
準用河川改修事業費 計		170,400,000		164,800,000

〔河川単独事業費〕 4,999,150 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・河川改良事業 (半谷川) (中村町及び平津町 地内)	工事費 水路嵩上工 (右岸)L=272.4 m (左岸)L=250.7 m 暗渠工 L=18.0 m ゲート工 1 式 柵板設置工 L=49.9 m 転落防止柵設置工 L=32 m	4,999,150	市 債	4,800,000

〔事故繰越〕 12,566,600 円  
 〔普通河川三鈴川河川改良事業費〕 12,566,600 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三鈴川 (楠町南五味塚地内)	工事費 L = 144.78 m 張ゲート工 A=651.0 m <sup>2</sup> 付帯工	12,566,600	市 債	11,900,000

〔河川排水課〕

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率 (準用河川の整備率)	目標	57.4%	実績	57.4% (20 年度 57.1%)
説明	治水事業は、市民の生命・財産を守るうえからも実施しなければならない重要な事業であり、本年度も準用河川改修事業、河川改良事業、排水路改良事業等を実施しました。河川整備率については、準用河川の 3 河川について事業を執行し、目標を達成しました。				

## 〔準用河川改修事業費〕

211,710,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大字羽津地内)	委託料 路線測量 L=0.05 km 橋梁詳細設計 水位観測所移設 1 箇所 事業効果早期発現検討 事務費 (一部平成 21 年度明許繰越)	10,290,000	国庫支出金 市 債	70,570,000 141,100,000
・朝明新川 (中村町及び萱生町地内)	工事費 L = 20.3 m 橋梁工 1 橋 (橋長 L=17.5 m 幅員 W=5.0 m) 護岸工(左岸)L=20.4 m 護岸工(右岸)L=14.4 m 事務費 (一部平成 21 年度明許繰越)	38,520,000		
・萱生川 (中村町地内)	負担金 三岐鉄道中村第 3 橋 梁改築工事委託に係 る負担金 事務費	162,900,000		
準用河川改修事業費 計		211,710,000		211,670,000

## 〔治水度ジャンプアップ事業費〕

24,500,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・治水度ジャンプアップ (市内一円)	委託料 溜池測量業務 1 式 護岸詳細設計 1 式 調査検討更新業務 1 式 工事費 農業用水取水堰移設工 1 箇所 迂回水路工 1 式 補償費 水道管移設補償 事務費 (一部平成 21 年度明許繰越)	24,500,000	市 債	24,500,000

## 〔普通河川三鈴川河川改良事業費〕

25,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三鈴川 (楠町南五味塚地内)	工事費 L = 80.5 m 張り付け工 A=363.0 m <sup>2</sup> 付帯工 1 式 仮設道路工 1 式 事務費	25,000,000	市 債	25,000,000

## 〔河川単独事業費〕

103,460,650 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・河川改良事業 (市内一円)	委託料 1式 工事費 1式 補償費 1式 (一部平成21年度明許繰越)	35,507,936	市債	35,000,000
・排水路改良事業 (市内一円)	委託料 1式 工事費 1式	64,281,105	市債	63,400,000
	市単独事務費	3,671,609		
河川単独事業費 計		103,460,650		98,400,000

## 項5 港湾費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,643,538,000 円	1,642,680,655 円	99.9%	0 円	857,345 円

## 目1 港湾総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,643,538,000 円	1,642,680,655 円	99.9%	0 円	857,345 円

目的	四日市港が市民に親しまれる港になる				
指標	市政アンケートにおける「親しまれるみなとづくり」の満足度(「非常に満足している」と「満足している」市民の割合)	目標	15.0%	実績	11.1% (20年度 14.1%)
説明	<p>四日市港管理組合において、ポートビル展望展示室に飲食休憩スペースを設置し充実を図ったほか、四日市地区における歴史的景観や文化遺産等を活かした親しまれる港づくりを進めるため、管理組合が主催するワークショップに参加し、資源の有効活用についてアイデアをまとめました。今後は、ワークショップの提案を受け、管理組合と連携して散策ルートの検討、イベントの開催につなげるとともに、四日市港まつりをはじめ、市民が四日市港とふれあう機会の拡大を図ります。</p> <p>物流面では、国が国際コンテナ戦略港湾の募集を開始したことから、四日市港が名古屋港と一体となって伊勢湾としての応募に向け協議を重ね、3月26日に伊勢湾として計画書(目論見)を国土交通省に提出しました。</p> <p>また平成20年10月から運航を休止している海上アクセス事業については、市民2千人に対するアンケートの実施をはじめ、関係機関や企業へのヒアリング等情報収集を行い、今後の方向性について具体的検討を進めました。</p>				

〔一般職給〕	1人	9,679,906 円
〔港湾事務費〕		252,480 円
〔海上アクセスターミナル関連施設経費〕		39,847,269 円
〔四日市港管理組合負担金〕		1,592,444,000 円
〔三重県港湾海岸協会負担金〕		350,000 円
〔港湾都市協議会等負担金〕		107,000 円

## 項6 都市計画費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,295,390,012 円	4,008,275,591 円	93.3%	247,965,300 円	39,149,121 円

### 目1 都市計画総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
295,482,000 円	276,195,129 円	93.5%	0 円	19,286,871 円

〔一般職給〕 16人 141,202,082 円 (県支出金 440 円)  
(その他特財 11,131,212 円)  
〔嘱託職給〕 1人 2,788,012 円 (県支出金 428,967 円)

### (都市計画課)

目的	計画的な土地利用を進める				
指標	まちづくり3 条例による適 正な土地利用 の誘導を行う	目標	制度運用の基本となる 関連計画の整備・見直 し	実績	地区計画ガイドライン の策定
	市街化区域内 人口		272,000 人 (H 21 目標)		271,968 人 (20 年度 271,892 人)
説明	土地利用の基本となる都市計画マスタープラン全体構想の策定から5年を経過したことから、社会経済情勢の変化を踏まえた課題の整理、素案の作成等改正に向けた作業に着手しました。 都市計画まちづくり条例に基づき都市計画提案による地区計画を都市計画決定しました。また、景観条例及び景観計画により良好な景観形成を推進するため、事前相談を通じて行為の制限など指導を行いました。				

〔土地利用計画策定調査費〕 488,250 円  
都市計画基礎調査等  
〔都市計画マスタープラン策定事業費〕 7,774,200 円  
〔都市計画策定費〕 118,230 円  
〔都市計画情報提供事業費〕 1,069,950 円  
〔景観計画推進事業費〕 123,900 円  
〔生産緑地現況調査事業費〕 (緊急雇用創出事業) 825,766 円 (県支出金 825,766 円)  
〔委員報酬〕 244,900 円  
・都市計画審議会委員 15 人  
〔負担金〕 705,000 円  
・都市計画協会負担金 200,000 円  
・三重県都市計画協会等負担金 505,000 円

目的	円滑に移動できる交通体系にする				
指標	自家用車依存から公共交通利用への転換	目標	総合交通体系を検討	実績	都市総合交通戦略策定準備会を設置し、交通に関する取り組み方向を取りまとめ
	バス・鉄道利用者数		前年度以上		28,826千人 (20年度 29,994千人)
説明	歩いて暮らせるまちづくりの視点から都市総合交通戦略準備会を設置し、公共交通に関する取り組みの方向をまとめるとともに気軽に自転車を活用できる空間整備事業調査としてレンタサイクルの社会実験などを行いました。一方、バス路線の廃止代替や公共交通空白地域の市民の交通手段を確保するため、市内3路線の自主運行バスの運行維持に努めるとともにNPO法人が運行する「生活バスよっかいち」へ引き続き支援等を行い、公共交通の利用促進を図りましたが、新型インフルエンザの流行、高速道路の休日割引等の影響により前年度を下回る実績となりました。				

- 〔既成市街地整備事業調査費〕 5,889,220円  
都市総合交通戦略準備会の設置、運営等
- 〔気軽に自転車を活用できる空間整備事業費〕 8,323,040円  
自転車利用促進イベント、レンタサイクル社会実験の実施等
- 〔地方バス路線維持費〕 42,838,950円 (県支出金 4,973,000円)  
磯津高花平線、神前高角線、山城富洲原線(年間利用者数 延べ 73,638人)
- 〔市民運行バス支援事業費〕 3,600,000円  
生活バスよっかいち 年間利用者数(延べ 26,510人)
- 〔負担金〕 213,000円
  - ・リニア中央新幹線建設促進同盟会負担金 36,000円
  - ・三重県鉄道網整備促進期成同盟会等負担金 177,000円

目的	市民主体のまちづくりが進むよう啓発・支援を行う				
指標	まちづくり構想の策定地区数(累計)	目標	6地区	実績	4地区 (20年度 4地区)
説明	大矢知、楠地区では、まちづくり構想策定に向けた策定委員会が開催されましたが、まちづくり構想の策定には、至りませんでした。また、新たに羽津・神前地区で、まちづくり構想策定委員会が設立しました。更に、海蔵、内部、保々、下野、水沢、塩浜地区では、まちづくり構想勉強会として都市計画マスタープランなどの説明やまちづくり関係の資料提供の支援を行いました。				

- 〔まちづくり活動支援事業費〕 4,651,809円

目的	里山を市民の手で保全する活動を支援する				
指標	市民緑地制度による支援団体数(累計)	目標	6団体	実績	5団体 (20年度 5団体)
説明	里山保全については、既設の5カ所の市民緑地(県地区「グリーンパーク岡山」、桜地区「初瀬ビオトープ」、河原田地区「かわらだ竹林公園」、内部地区「貝家町ビオトープ」、四郷地区「八王子秋の小径」)の維持管理を引き続き実施し、県地区の市民緑地では区域拡張を行いました。また新規開設として1カ所目標に掲げましたが、地権者の同意が得られず開設には至りませんでした。更に、昨年に続き「市民緑地連絡協議会」を開催し、各市民緑地の活動状況の報告など情報交換を行いました。				

- 〔里山保全事業費〕 2,093,750円



**(開発審査課)**

〔委員報酬〕	201,600円 (その他特財	201,600円)
・開発審査会委員 6人		
〔開発技術研修等負担金〕	155,000円 (その他特財	155,000円)

開発許可等の審査件数、審査面積	150件 13.9ha ( 183件 68.5ha )
〔開発審査事務費〕	2,493,867円 (その他特財 2,493,867円)
〔大規模盛土造成地変動予測調査費〕	2,313,150円 (その他特財 2,313,150円)

**(道路管理課)**

〔ふれあいモール維持管理費〕	6,329,951円 (その他特財	2,615,406円)
清掃・維持管理業務を委託		
〔近鉄高架下土地管理費〕	29,690,433円 (その他特財	7,344,065円)
〔屋外広告物簡易除却事務費〕	4,048,513円 (県支出金	4,048,513円)
除却数 3,644枚 うち除却ボランティア除却数 317枚 (11団体 133人)		
〔駐車場維持管理費〕	1,900,500円	
市営駐車場定期点検及び市営中央駐車場補修工事		

**目2 土地区画整理費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
699,876,000円	699,876,000円	100.0%	0円	0円

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 98,537,000円)

**目3 街路事業費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,710,304,012円	1,471,290,086円	86.0%	228,075,500円	10,938,426円

〔一般職給〕 5人 35,101,276円

**(都市計画課)**

〔明許繰越〕	
〔ふれあいモール整備事業費〕	28,969,500円

目的	円滑に移動できる交通体系にする				
指標	自家用車依存から公共交通利用への転換	目標	総合交通体系を検討	実績	都市総合交通戦略策定準備会を設置し、交通に関する取り組み方向を取りまとめ 28,826千人 (20年度 29,994千人)
	バス・鉄道利用者数		前年度以上		
説明	都市の効率的な交通網の構築に向けて、長期未着手の都市計画道路の見直しの検討を行いました。また、市内随一の交通結節点として多くの人々が利用する近鉄四日市駅の耐震化事業に対し支援(国・県・市の協調補助)を行ないました。				

〔近鉄四日市駅耐震化促進事業費〕 5,455,658 円  
 〔都市計画道路見直し事業費〕 4,971,750 円

**(道路整備課)**

〔明許繰越〕 440,741,012 円

〔街路補助事業費〕 408,700,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔臨時交付金〕 ・千歳町小生線 (城西町地内)	工事費 L=450.0m W=22.0m 排水工 L= 566.4m 舗装工 A=7,580 m <sup>2</sup> 事務費	48,300,000	国庫支出金 市 債	224,785,000 183,900,000
	・環状1号線 (垂坂町地内)	工事費 L=120m、W=16.0m 擁壁工 L=34.7m 函渠工 L=45.8m 鋼矢板打設工 L=32.4m 舗装工 A=2,037 m <sup>2</sup> 付帯工 1式 事務費		360,400,000
	地方道路整備臨時交付金事業費 (街路)計	408,700,000		408,685,000
街路補助事業費 計		408,700,000		408,685,000

〔地方特定道路整備事業費(街路)〕 14,290,071 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・四日市関ヶ原線 (滝川町地内)	用地費 A=135.68 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 4件	14,290,071	市 債	12,900,000

〔街路単独事業費〕 17,750,941 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千歳町小生線 (城西町地内)	工事費 工事費 1式	17,750,941	市 債	16,900,000

**(道路整備課)**

目的	街路の整備				
指標	街路の整備延長 (平成17年度からの累計)	目標	4,767 m	実績	3,867 m (平成20年度 3,586 m)
説明	<p>快適な市民生活及び円滑な経済活動が行えるよう、市内の道路ネットワークを構築するため、幹線街路の整備に努めました。</p> <p>千歳町小生線(堀木日永線以西)及び中村垂坂線の供用を開始しました。これにより、生活道路への車両進入や渋滞が減少したこと等により、道路の利便性が向上しました。</p> <p>また環状1号線については、用地買収が難航し年度内に完了できませんでした。これに伴い道路改築も、平成22年度に繰越したため、目標を達成することができませんでした。</p> <p>日永八郷線(交差点改良)については、近接工事の影響で交通障害が生じるため、工程調整を行ったことにより平成22年度に繰越しました。</p>				

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業計画年度	進捗率
千歳町小生線	平成14年度～平成21年度	100.0%
環状1号線	平成16年度～平成22年度	81.7%
中村垂坂線	平成21年度	100.0%

〔街路補助事業費〕

323,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔地域活力基盤創造 交付金〕 ・環状1号線 (垂坂町地内)	工事費 L=500.0m W=16.0m 大型擁壁工 L=83.8m 鋼矢板打設工 L=63.6m 舗装工 A=5,381 m <sup>2</sup> 付帯工 1式 用地費 A=46.37 m <sup>2</sup> 補償費 物件補償費 1式 事務費 (一部平成21年度 明許繰越)	184,000,000	国庫支出金 市 債	101,200,000 82,800,000
地域活力基盤創造交付金事業費 (街路) 計		184,000,000		184,000,000

〔まちづくり交付金〕 ・中村垂坂線 (中村町および萱生町)	委託料 電柱抜柱 1式 工事費 L=845m,W=12m 舗装工 A=6,829 m <sup>2</sup> 側溝工 L = 1,445.9 m 植生マット工 A=2,750 m <sup>2</sup> 負担金 信号機移設 1式 事務費	131,269,214	国庫支出金 市 債	135,600,000 3,400,000
・日永八郷線(交差点改良) (山之色町地内)	工事費 L=154m,W=9.5~23.5m 床版工 1式 舗装工 A=1,414 m <sup>2</sup> 用地費 A=66.93 m <sup>2</sup> 補償費 補償費 1式 事務費 〔一部平成21年度明許繰越〕	7,730,786		
まちづくり交付金事業費 計		139,000,000		139,000,000
街路補助事業費 計		323,000,000		323,000,000

## 〔地方特定道路整備事業費（街路）〕

31,600,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・環状1号線 (垂坂町地内)	委託費 測量調査設計業務 工事費 L=300m.W=16m 道路側溝工 L=573m 舗装工 A=4,185m <sup>2</sup> 路床安定処理工 A=3,190m <sup>2</sup> 街渠工 L=572m 道路照明灯工 3基  (一部平成21年度 明許繰越)	25,358,067	市	債 31,600,000
・四日市関ヶ原線 (滝川町地内)	用地費 用地費 1式 補償費 補償費 1式	6,241,933		
地方特定道路整備事業費（街路） 計		31,600,000		31,600,000

## 〔街路単独事業費〕

21,698,995 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千歳町小生線 ・環状1号線 ・四日市関ヶ原線 ・中村垂坂線 ・その他	委託料 測量調査設計業務他 工事費 付帯工 用地費 A=9.04 m <sup>2</sup> 補償費 補償費 1式 事務費	21,698,995	市	債 7,200,000

〔公社健全化事業費〕

103,148,111 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線	用地費 公共用地特会への支出	32,726,921	都市計画税	1,000,000
・阿倉川西富田線	用地費 公共用地特会への支出	1,272,546		
・赤堀山城線	用地費 公共用地特会への支出	5,958,516		
・環状1号線	用地費 公共用地特会への支出	17,126,989		
・富田本町線	用地費 公共用地特会への支出	9,682,073		
・橋北中学校 (高浜陶栄線)	用地費 公共用地特会への支出	36,381,066	都市計画税	1,100,000
公社健全化事業費 計		103,148,111		2,100,000

## (市街地整備・公園課)

目的	円滑な交通とまちづくりの推進				
指標	近鉄連立進捗状況	目標	仮線工事(仮線 レール敷設)	実績	仮線工事(仮線 レール敷設)
説明	踏切除却による慢性的な交通渋滞の解消及び末永町・本郷町と橋北地区の一体化をめざす近鉄川原町駅付近連続立体交差事業は、施行者である三重県が18年度末に事業認可を受け、19年度より本格的に事業着手しました。年度目標に掲げたとおり、仮線工事の円滑な推進にあたり、地元調整や関係機関との協議において事業支援に努めた結果、仮線敷設が順調に進み、22年度から23年度にかけて仮線への運行切替を予定しております。				

〔連続立体交差事業負担金〕

32,324,500 円 (市債 32,300,000 円)

近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う三重県への負担金(一部平成21年度明許繰越)

〔公社健全化事業費〕

455,968,069 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
JR四日市貨物駅移 転用地取得事業	用地費 公共用地特会への 支出	455,968,069	都市計画税	14,456,000

## 目4 公園管理費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
509,504,000 円	501,115,056 円	98.4%	0 円	8,388,944 円

〔一般職給〕

5 人

43,402,465 円

(都市計画課)

目的	緑化基金を活用して市民の手で緑を保全する活動を支援する				
指標	花と緑いっぱい事業参加 団体数	目標	75団体	実績	83団体 (20年度 70団体)
説明	花と緑いっぱい事業補助金については、緑化基金を活用し、公園や街路花壇で活動する83団体に補助を行い、まちなかなどの緑化推進に寄与しました。平成20年度に比較し、13団体増加しました。 (平成21年度末基金残高 176,517,261円)				

〔花と緑いっぱい事業費〕 10,875,391円 (その他特財 10,638,934円)

〔緑化基金積立金〕 2,828,914円 (その他特財 2,828,914円)

(市街地整備・公園課)

〔明許繰越〕 69,998,250円

〔公園施設安全対策費〕 69,998,250円

公園遊具の修繕・改良工事(国の安全指針見直しに伴う)

目的	公園愛護活動の推進				
指標	公園愛護団体 数	目標	235団体	実績	234団体 (20年度 233団体)
説明	住民との協働による効率的な維持管理が行えるよう公園愛護団体結成の啓発に努めました。平成21年度の実績は目標には届かなかったものの1団体増となり、合計234団体となっています。				

〔公園愛護会育成費〕 1,865,859円 (その他特財 1,600,000円)

公園愛護団体への清掃用具等の貸与

目的	公園及び街路樹の適正な維持				
指標	事故件数(管理瑕疵 があるもの)	目標	0件	実績	1件 (20年度 0件)
説明	安全で快適な公園の維持管理及び街路樹の健全な育成に努めました。特に遊具の安全対策については、取組を強化した矢先に管理瑕疵に起因する事故が発生したことから、原因を徹底的に究明したうえで今回の教訓を活かし、常に安全な状態に保てるよう必要な対策を実施します。				

〔公園施設管理費〕 336,760,174円 (その他特財 7,476,444円)

公園の除草・清掃、公園樹木及び街路樹の剪定をはじめ公園施設全般の管理

〔公園施設安全対策費〕 4,830,000円

公園遊具の保守点検等

〔公園施設維持補修費〕 19,803,398円

公園施設の修繕、補修工事等

〔公園施設管理費(緊急雇用創出事業)〕 9,543,450円 (県支出金 4,557,000円)

危険木調査・伐採等

種別	開設箇所	開設面積	備考
公園緑地 ( )内は20 年度実績	412 (403)	304.73ha (291.38ha)	うち街区公園 348箇所 (340箇所)
街路樹 ( )内は20 年度実績	51路線 (51路線)	約11,000本 (約11,000本)	四日市中央線 金場新正線 四日市西町線 外

**その他経費**

〔公園緑地協会負担金〕 110,000 円  
 〔公園土地管理費〕 411,993 円

**目5 公園建設費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,080,224,000 円	1,059,799,320 円	98.1%	19,889,800 円	534,880 円

〔一般職給〕 2人 15,498,700 円

**(市街地整備・公園課)**

〔明許繰越〕 34,720,000 円  
 〔公園緑地整備補助事業費〕 34,720,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・垂坂公園・羽津山緑地 整備事業 (大字羽津外地内)	工事費 園路整備工 1式 事務費	4,720,000	国庫支出金 市 債	2,360,000 2,100,000
・都市公園バリアフリー 化緊急支援事業(南部 丘陵公園) (大字日永地内)	工事費 複合遊具設置工 1式 事務費	30,000,000	国庫支出金 市 債	15,000,000 13,500,000
公園緑地整備補助事業費 計		34,720,000		32,960,000

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	市民1人当たりの供用面積	目標	9.26 m <sup>2</sup> /人	実績	9.71 m <sup>2</sup> /人 (20年度 9.28 m <sup>2</sup> /人)
説明	南部丘陵公園南ゾーンにおいて備蓄倉庫を設置し防災公園としての機能強化を図るとともに北ゾーンの広場整備を行い、0.6haの供用を開始しました。また、垂坂公園・羽津山緑地の整備推進のため、事業用地の取得を行いました。これらの取組みの結果、県営事業負担金を支出している北勢中央公園や開発行為による公園の開設を含め供用面積は13.4ha増加し、市民一人あたり供用面積9.26 m <sup>2</sup> の目標を達成しました。				



## 〔公園緑地整備補助事業費〕

195,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・南部丘陵公園整備事業 (貝家町外地内)	工事費 備蓄倉庫築造工 1式 公園整備工 1式 (園路工、張芝工) 管理施設設置工 1式 事務費	34,000,000	国庫支出金 市 債	17,000,000 17,000,000
・垂坂公園・羽津山緑地 整備事業 (大字羽津外地内)	用地費 用地取得面積 4,126 m <sup>2</sup> 事務費	45,000,000	国庫支出金 市 債	15,000,000 30,000,000
・四日市東インター南部 地区整備事業 (中村町外地内)	用地費 用地取得面積 11,695 m <sup>2</sup> 事務費	116,000,000	国庫支出金 市 債	46,400,000 69,600,000
公園緑地整備補助事業費 計		195,000,000		195,000,000

## 〔霞ヶ浦緑地親しみ空間整備事業費〕

9,999,150 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・霞ヶ浦緑地親しみ空間 整備事業 (大字羽津甲地内)	工事費 園路整備工 1式 花壇整備工 1式 案内板設置工 1式	9,999,150		

## 〔公園緑地整備単独事業費〕

502,175,360 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・市内一円の公園緑地	工事費 1式 委託費・調査設計 1式	12,400,924	都市計画税	122,627,000
・大気汚染対策緑地償還 金	羽津山緑地事業費償還 楠中央緑地(公園緑地譲受費)	233,177,820 229,775,319		
・北勢中央公園建設負担 金	県公共事業費負担金 県単独事業費負担金 (一部平成21年度明許繰越)	13,651,800 444,000	市 債	13,600,000
・単独事務費		12,725,497		
公園緑地整備単独事業費 計		502,175,360		136,227,000

## 〔公社健全化事業費〕

317,904,810 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・富田中公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	43,341,160		
・南部丘陵公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	191,090,154		
・安島児童公園用地取得事業費	公共用地特会への支出	83,473,496		
公社健全化事業費 計		317,904,810		

## 項7 下水道費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
7,882,100,000 円	7,820,036,000 円	99.2%	62,064,000 円	0 円

### 目1 下水道整備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
7,882,100,000 円	7,820,036,000 円	99.2%	62,064,000 円	0 円

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。(都市計画税充当額 1,771,471,337 円)

#### 〔負担金〕

・下水道雨水処理費 4,977,093,000 円 (国庫支出金 33,836,000 円)

#### 〔補助金〕

2,842,943,000 円  
 ・下水道汚水処理費基準内 2,128,663,000 円  
 ・下水道汚水処理費基準外 714,280,000 円

## 項8 住宅費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
481,148,400 円	440,753,339 円	91.6%	31,063,500 円	9,331,561 円

### 目1 住宅管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
450,161,000 円	412,837,470 円	91.7%	29,000,000 円	8,323,530 円

〔一般職給〕 9人 75,847,891 円 (その他特財 75,847,891 円)  
 〔嘱託職給〕 2人 6,159,582 円 (その他特財 6,159,582 円)

#### (都市計画課)

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕 4,971,921 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
家賃対策補助 (ハレザ 未永外 3 団地)	対象戸数 21 戸	1,724,921	国庫支出金	1,677,000
建設費利子補給 (ハレザ 未永)	補助金	3,247,000	県支出金	1,623,000
特定優良賃貸住宅供給促進事業費 計		4,971,921		3,300,000

〔住宅整備資金融資貸付金〕 1,414,000 円(その他特財 1,414,000 円)

〔住情報提供推進事業費〕 17,310 円

**(市営住宅課)**

目的	市営住宅のバリアフリー化				
指標	高齢者・障害者対応住宅供給戸数	目標	291戸	実績	291戸 (20年度 283戸)
説明	既存住宅を改良することにより、高齢者対応住宅を7戸、障害者対応住宅を1戸供給しました。				

〔高齢者・障害者向け住宅改良事業費〕

27,013,245 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・高齢者・障害者向け改良工事 (三重団地外2団地)	工事費 高齢者向7戸 障害者向1戸	27,013,245	国庫支出金	10,241,000
			その他特財	16,772,245
高齢者・障害者向け住宅改良事業費 計		27,013,245		27,013,245

目的	市営住宅使用料の滞納整理				
指標	現年度収納率	目標	93.00%	実績	92.57% (20年度 92.09%)
説明	家賃滞納整理については、入居者が低額所得者であるという実情を考慮し、個々の状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、その徴収に当たっては督促・呼び出し・訪宅等の方法をもって厳しく対処しました。また、悪質な滞納者に対しては支払督促などの法的措置を実施しました。(54件)これらの措置を講じたことにより、概ね目標どおりの成績を上げることができました。				

〔市営住宅維持補修費〕

133,503,842 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・一般修繕	雨漏り、水漏れ修理 下水管貫通清掃、樹木の剪定等	68,963,253	その他特財	133,503,842
・空家修繕	入居募集用修理 76戸	59,658,899		
・その他	保守点検委託、保険料等	4,881,690		
市営住宅維持補修費 計		133,503,842		133,503,842

## 〔市営住宅整備事業費〕

62,495,475 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・電気容量改良工事 (茂福団地)	20Aから30Aに改良	17,666,250	国庫支出金 その他特財	21,093,000 41,402,475
・改修工事 (三重団地外2団地)	高齢者、障害者向け等住宅改修	18,191,565		
・グループホーム改修工事 (あさけが丘)	グループホーム対応への改修	6,472,410		
・給水直圧化工事 (北条町団地)	高架水槽方式から直圧給水方式 に変更、給水分担金、審査手数料	5,386,500		
・手摺塗装工事 (坂部が丘団地)	外部手摺、隔て壁及び物干し塗 替え	5,436,900		
・ポーチ設置工事 (天白町団地)	アルミ製玄関ポーチ設置	7,087,500		
・その他	小鹿が丘団地除却等	2,254,350		
市営住宅整備事業費 計		62,495,475		62,495,475

## 〔市営住宅地上デジタル放送対応改修事業費〕

55,982,706 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・地上デジタル放送受信 設備改修整備 (三重団地外22団地)	ブースター、同軸ケーブル、分 配器、壁端子ユニット交換 〔一部平成21年度〕 明許繰越	55,982,706	国庫支出金	55,982,706

## 〔その他経費〕

〔委員報酬〕	134,300 円 (その他特財	134,300 円)
・市営住宅入居者選考委員会委員 6人		
〔住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金〕	29,072,000 円	
〔負担金〕日本住宅協会	50,000 円 (その他特財	50,000 円)
〔管理人報償金〕	3,714,690 円 (その他特財	3,714,690 円)

## 目2 住宅建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
30,987,400 円	27,915,869 円	90.1%	2,063,500 円	1,008,031 円

[ 明許繰越 ]

[ 老朽市営住宅耐震対策事業費 ] 1,646,400 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震対策工事設計業務委託 (あさけが丘外2団地)	委託料 3団地 11棟	1,646,400		

[ 一般職給 ] 2人 15,728,769 円

### (市営住宅課)

目的	市営住宅の安全確保				
指標	耐震補強戸数	目標	47戸	実績	27戸 (20年度40戸)
説明	耐震基準を満たしていないコンクリートブロック造住宅のうち、あさけが丘市営住宅について必要な耐震対策工事(27戸)を実施しました。石塚町、泊ヶ丘町の2団地(20戸)については契約の遅れにより翌年度繰越となりましたが、平成22年5月に完成しました。				

[ 老朽市営住宅耐震対策事業費 ] 10,540,700 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・耐震対策工事 (あさけが丘外2団地)	コンクリートブロック造2階建住宅の耐震対策工事 〔一部平成21年度〕 明許繰越	10,062,950		
・その他	委託料	477,750	国庫支出金	381,000
老朽市営住宅耐震対策事業費 計		10,540,700		381,000